

洪水標識（想定浸水深）を 山辺町三河尻地区、近江地区に**設置!**

～洪水時の**避難行動**に際し**自治会**独自の取組**支援**～

近年の豪雨災害を踏まえ、住民自らの検討による想定最大規模の降雨に伴う浸水想定区域に対応した、自治会単位のハザードマップのお披露目と町内への想定浸水深看板を設置いたします。

1. 開催日時 ①平成31年3月 9日（土）10:00～12:00（三河尻地区）
②平成31年3月10日（日） 9:00～11:00（近江地区）
2. 開催場所 ①常福寺（山辺町 大字三河尻23-3）【約10名出席予定】
②山辺町近江公民館 【約15名出席予定】
3. 実施内容 **地域住民による想定浸水深看板を設置**
4. 取 材 撮影は随時可能とします。

※まるごとまちごとハザードマップとは

自分たちの街に洪水にかかわる情報を標示して、いざという時に避難行動を円滑にし、被害を最小限にとどめよう! という取り組みです。

➤ 村山・置賜地区災害情報普及協議会

災害に関する情報の普及を支援するため、関係機関同士が効率的かつ一体的に情報共有し、災害時の連携を強化する組織です。

〈発表記者會〉 山形県政記者クラブ

問い合わせ先

(村山・置賜地区災害情報普及協議会事務局)



国土交通省

東北地方整備局 山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目3番55号
TEL 023-688-8933(直通)
調査第一課長 栗田 政芳(内351)

山辺町 防災対策課
東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL 023-667-1119
山辺町 防災対策課長 村山 幸一

山辺町近江・三河尻地区の「まるごとまちごとハザードマップ」

- ①住民、自分たちの手で「自分達の洪水ハザードマップ」を作るとともに想定浸水深看板を設置することで、想定最大規模の浸水エリア、浸水深を把握。
- ②地図に書き込み、実際歩いて見て「どのタイミング」で「誰と一緒に」どの「ルート」でどこに「避難」するか予め考え、備えをしておくものです。

今までの取組み



主旨説明会(11/1)

- まるまちとは何か
- まるまちの進め方
- これからのまるまち予定
- 次回検討会に向けての事前確認



第1回検討会(12/11)

- 想定浸水深看板設置箇所の確認
- 避難する際の指標となるもの
- 避難ルートを机上で想定 等



まち歩き(12/19・20)

- 看板設置箇所の確認。避難指標の確認



今回
(イメージ)

- 自分達で街中に想定浸水深のわかる看板を設置し、洪水時の避難行動を支援するとともに防災意識高揚を図る